

平成 27 年 12 月 1 日

## 東松島復興推進員だより(第 23 号)

～地を往きて走らず～

今回の推進員だよりは、野蒜地区で活動している齊藤弘紀がお送りします。さて、皆さまは JICA が取り組んでいる「草の根技術協力事業」を知っていますか？草の根技術協力事業は、国際協力に取り組みたいという意志を持つ日本の NGO、大学、地方自治体及び公益法人等の団体による、開発途上国の地域住民を対象とした協力活動を、JICA が政府開発援助 (ODA) の一環として、促進し助長することを目的に実施する事業です。JICA の草の根技術協力事業について、詳しくはこちらをご覧ください。

●草の根技術協力事業：<http://www.jica.go.jp/partner/kusanone/>

2004 年 12 月、インドネシア・スマトラ島沖を震源とするマグニチュード 9.1 の地震が発生、大津波により多数の死者、行方不明者を出す大惨事となりました。去年 12 月で 10 年が経過しましたが、東松島市ではこれまで、インドネシアのバンダ・アチェ市と、復興の経験を共有しながら、互いの復興に生かすことを目指し様々なことに取り組んでいます。

一般社団法人東松島みらいとし機構(通称:HOPE)では、2014 年 7 月 29 日から 8 月 6 日までの期間、野蒜地域出身と宮戸地域出身の大学生お二人をバンダ・アチェ市に派遣し、現状視察等を行いました。私たち地域復興推進員も同行し、野蒜・宮戸地域でバンダ・アチェ市の復興の取り組みがどのように活かせるのか、共に探ってきました。



野蒜地域出身 仙台白百合女子大学4年  
木村 美早妃さん



宮戸地域出身 福島大学4年  
齋藤 和成さん

## 〈震災遺構を観光資源へ〉

バンダ・アチェ市にはいくつかの震災遺構が残っています。「屋根の上の船」は、津波によって流された船が、住宅の屋根に乗り、そのまま残ってしまったものです。「発電船」は、津波によって内陸部に流されてきた巨大な発電船の震災遺構です。また一段と目を惹かれる「津波ミュージアム」は被災後、鉄道会社跡地に建設されました。このミュージアムは津波の記録を後世に伝える役目を担っており、子どもたちへの津波の伝承、有効な防災教育が行われています。

これらに共通することは、市の観光資源として震災遺構が有効に活用されているということです。地域内外から人が集まり、人が集まることで市の観光課が雇用した観光ガイドが置かれるなど新たな雇用が生まれ、周辺には遺構にちなんだお土産物屋も出店されるなどして、その地域の経済効果にも寄与しています。



津波ミュージアム

屋根の上の船

発電船

## 〈ゴトンロヨン(地域奉仕活動)がコミュニティにもたらすもの〉

インドネシアにはゴトンロヨンという言葉があり、相互扶助を意味しています。バンダ・アチェ市では月に1回程度地域ごとに住民が集まって道路の整備や掃除などの奉仕活動が行われていますが、この活動のこともゴトンロヨンと呼ばれています。今回の視察では、震災で大きな被害を受けた各村で住民の方々と意見交換を行いながら、このゴトンロヨンにも参加してきました。

今回はコミュニティガーデンを整備するための草刈り作業です。ゴトンロヨンは地域のコミュニティ形成にとっても良い刺激を与えてくれます。参加者は男性女性問わず率先して動いている様子で、お互いに会話を楽しみながら作業を進めていました。

バンダ・アチェ市の住民には、昔からの風習であるゴトンロヨンに基づいた奉仕精神と、住民同士の結束力の強さが根付いており、震災からの復興にもこの結束力が役に立ったと実感しました。



村民との意見交換会



ゴトンロヨンによる社会奉仕作業

### 〈東松島市への還元〉

今回の視察の目的は、バンダ・アチェ市の復興の取り組みを東松島市野蒜・宮戸地域で活かすことです。帰国後、お二人の大学生をはじめとした視察団のメンバーとインドネシアからの研修員二人と共にさっそくアイデア出しを行いました。併せて、野蒜・宮戸地域の方々にもバンダ・アチェ市の取り組みを知ってもらうための報告会や、広報紙の発行を行いました。11/3(火)文化の日にはバンダ・アチェ市の観光への取り組みを参考にした「イモニウオーク奥松島 2015 ～見て、歩いて、イモニ！～」と題して野蒜・宮戸の魅力を発信するためのスタンプラリーイベントを開催しました。今後も国際協力を通じた相互復興を目指して活動していきます。



野蒜市民センターでの報告会



宮戸地域での広報紙



活動のアイデア出し

### 【推進員だよりバックナンバー：JICA 東北ホームページ】

<http://www.jica.go.jp/tohoku/enterprise/shinsai/index.html>

\*\*\*\*\*  
JICA は、宮城県、東松島市、宮城大学、東松島まちづくり応援団(NPO)等と共同で「地域復興推進員」を通じた震災復興モデル事業を東松島市で開始しました。このモデル事業では、早期震災復興につながる”市民協働のまちづくり”を支援することを目指しています。ここで得られた教訓や経験を将来の国際協力に繋ぎます。  
\*\*\*\*\*